

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2010 年 10 月 31 日

派遣者氏名（専門分野）	中村優希 (西洋史学)
-------------	------------------

派遣期間	2010 年 9 月 2 日 ~ 2010 年 9 月 13 日
------	----------------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
アメリカ合衆国	ワシントン D.C.	アメリカ議会図書館

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入）

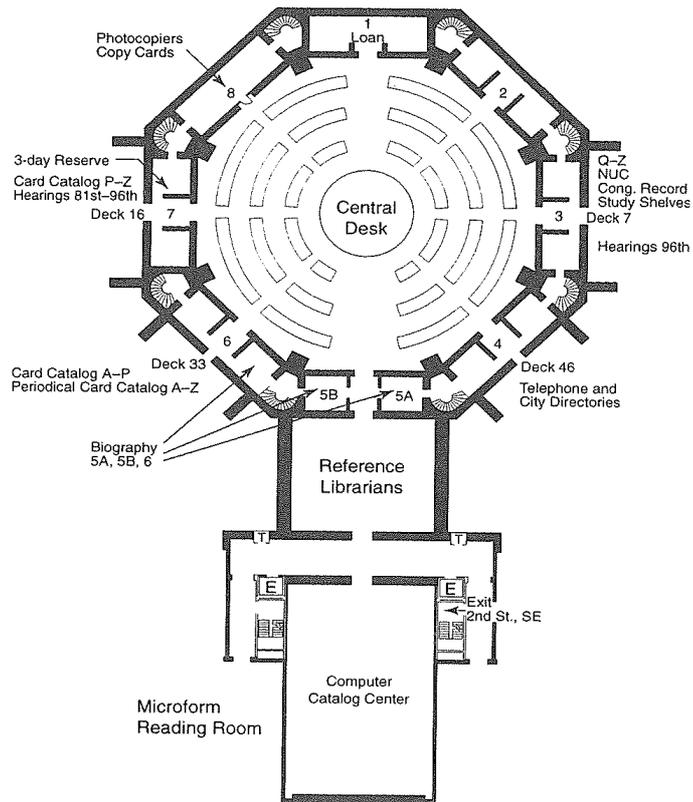
アメリカ議会図書館でははじめに **Registration Card** を作る必要がある。アメリカ議会図書館はマディソン館、ジェファソン館、アダムス館の三館から成る。**Registration Card** を作る部屋はマディソン館一階にあり、そこにパスポートを持っていき、必要事項を記入しカードを作成する。

さて、本プログラムにおいて、筆者は主として二つのリーディングルームを利用した。一つはメイン・リーディングルーム、もうひとつはマニユスクリプト・リーディングルームである。メイン・リーディングルームはジェファソン館にあり、マニユスクリプト・リーディングルームはマディソン館にある。

メイン・リーディングルームでは、筆者が分析の対象としているジョン・コリアが投稿していた雑誌 **Indians at Works** と **News Letter** の複写および写真撮影を行った。申請は申請用紙に必要な事項を記入して、セントラル・デスクのライブラリアンに渡してしばらくすると指定の場所まで持ってきてくれる。複写にかんしては、メイン・リーディングルーム内に印刷室があり、そこでコピーすることができる。はじめに機械に 1 ドル入れるとコピーカードが購入でき、同じ機械でコピーカードにチャージしてコピーを行う。コピーは 1 枚 20 セントでできる。ただし、紙のサイズが日本とは違っているので注意が必要である。写真撮影にかんしては、メイン・リーディングルーム自体は写真撮影が禁止されている。そのため、別室の目録の書庫などで写真を撮影することになった。

マニユスクリプト・リーディングルームでは、内務省インディアン局長時代におけるコリアの手紙などのマイクロフィルムを閲覧し、PDF 化してコピーを行った。マニユスクリプト・リーディングルームでは PDF 化してコピーすることのできるパソコンが 2 台置かれている。PDF 化する方法の説明が書かれた説明書のようなものが置かれていたものの、それを見ても PDF 化してコピーする方法がわからず、あたふたしているとスタッフの方が丁寧にコピーする方法を教えてくださいました。この PDF 化するパソコンは大阪大学文学部の研究推進室にもあり事前に PDF 化する方法を実習しておくべきであった。PDF 化するパソコン以外にも閲覧するだけのマイクロリーダーや紙にコピーすることができるマイクロリーダーもあった。また、マニユスクリプト・リーディングルームでは依頼すれば、土曜日でもすぐに史料を出してきてくれ、土曜日でも史料調査をすすめることができる。

MAIN READING ROOM



- 左図の 8 のところでコピーカードの購入および複写をすることができる。
- 左図の Deck33 で、写真撮影を行った。
- 本を取り出す申請はセントラル・デスクに行く。
- 左図の 7 の場所に借り出した史料をストックしておくことができる。

出典 : "Information For Researchers", p.23